

さくら 2

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	4	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当時から地域との交流を持ち地域に溶け込めるような施設にしたいとの思いで作った理念である。	0	
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関、事務所に掲示しているのは勿論のこと、業務に入る前に毎朝唱和し、理念に基づいて介護している。	0	
	3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の中に溶け込むように行事（お祭り、保育園の発表会、地域芋掘り）など多数の案内状を頂き参加させてもらっている。又、さくら便りは2ヶ月に1回、家族及び推進会議のメンバー、消防署、交番、保育園に入居者自らが持参し交流をして頂いている。	0		
	2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	1	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	一般家庭の作りになっており玄関も開放しており、近隣のかたがたと日々挨拶を交わしており尋ねてくださる方も多い。気軽に立ち寄りいただき野菜など頂いている。	0	
5 外部評価3		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭りなどの行事やお宮の掃除活動には参加して地域の方々と交流を図っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方々に入居者の方で参加できる地域活動はないか働きかけている。職員と入居者でお宮の掃除を行っている	1	地域の老人クラブの方々とお宮掃除などの地域活動を一緒に行っていくよう働きかけていく。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	3	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は意義を理解している。又全体会議などでも意義を伝えている。昨年外部評価結果を全員に配り検討話し合いをした。	1	評価結果を全職員に配布、全体会議の中で検討していく。改善があれば取り組んでいく
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	制度発足と同時に2ヶ月おきの会議を開催している。ホーム内での一日の活動及び行事等の報告の中で活動できる情報をいただいて参加、又、家族様からの意見を出していただき質の向上に努めている。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	外部評価結果報告書を窓口まで持参している更新認定調査の届け出も窓口まで持参、其の都度対応や指導を受けている。	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修には参加している。成年後見制度については契約時や家族の会の時に、パンフレットを渡し説明を行っている。年2回勉強会を開いている。	1	制度の利用がスムーズに出来るように(運ぶように)取り組んでいく。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について内外の研修や勉強会に参加している。又、高齢者や認知症についても勉強会や、研修に参加し、虐待を防いでいる	1	今後も虐待をしない、させないを徹底していく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族に契約時「入居契約書」「重要事項説明書」の内容を読み上げながら説明を行っている中で疑問点を尋ね疑問があれば其の都度説明し、理解、納得をしてもらっている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見、不満、苦情があるときは其の都度聞き、家族と話し合い運営反映に努めている。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	常に連携を取って其の都度家族の方に説明報告している。健康状態については、必要時電話報告している。金銭管理は面会時に出納帳にサインをもらっている。職員の異動については、面会時、さくら便り、推進会議などで報告している。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時には声かけをし家族が気軽に話し掛けてこられる雰囲気を作っている。話の中で「何かあれば」と家族が意見、不満、苦情などを職員に話せるように日頃からコミュニケーションを取っている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の全体スタッフ会議にて意見や提案を聞く機会を設けている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況に合わせてローテーションを組み勤務表を作る人を中心に勤務調整を行っている。利用者の状況に応じたローテーションを組み柔軟な対応ができるように努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 る 理 た 念 め を の 実 体 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	精神安定を図るため、異動はなく固定勤務にしている。	0	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	0
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員募集、採用に対して年齢、性別については排除はしていないが、福祉に対してどのような思いを持っているのか、高齢者に対するの対応最低限は必要なホームの理念に適しているかを判断している。現在の職員に対しても個人の能力を把握し最大限出されるように努め社会参加、自己実現は勤務希望前もって聞き急の時は調整している。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権擁護尊重などの研修は職員も参加し勉強している。又、朝の申し送りや日々の現場での対応についても必ず利用者の人権を尊重する言葉かけの支援をするよう説明している。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	市町村主催、グループホーム協議会、朝倉介護保険事業者協議会などの研修し段階的に分け報告書を作成し職員の質の向上を図っている。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会、朝倉介護保険事業者協議会に所属し、研修会に参加することで交流を持ち日常的な情報交換を図り連携を深めて当ホームに良い事は積極的に取り入れていくように取り組んでいる。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	慰安旅行、忘年会、食事会、歓送迎会などに参加し交流を図っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修は積極的に参加し、勤務体制に無理が生じないように努めている。ホームヘルパーや介護福祉士、介護支援専門員などの資格取得もすすめ支援していきように働きかけている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	2	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価4項目・外部評価1項目	1	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく りと その 対応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用相談時には本人の同伴をお願いしているより良く生活して頂けるよう本人の口から思いや願いそして入居当初の混乱を少しでも緩和するため馴染みの関係を作るように心がけ手いる。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談の際には、家族の思いを共有し話を良く聞く事で辛い思いや置かれている状況を理解し改善に向けて助言をしていく様働きかけている。又、家族の会や行事にも参加していただくよう働きかけ信頼関係ができるように努める。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談に至るまでの思いを良く知った上で本人と家族が望むことに対して、他のサービスを受け入れることが適切と判断した時には他の施設の紹介やサービスを受ける事をアドバイスしている。日頃から同業者との連携や情報交換を行っていくよう努めている。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の性格や、育ってきた環境や今まで生活してきた状況を把握しその人にあったサービス提供、また顔なじみの方の面会や家族の協力も得ながら徐々にさくらになれて頂くように援助している。	1	利用者の方が安心して生活できるよう家族や知人の面会は多く持って頂けるよう努めていく。
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価6項目・外部評価1項目	1	
係り と これ まで の 関係 づく り の 支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人が充実した毎日を築けるよう職員も同じ立場で物事を考え、尊敬の念を持って接している。しきたり、風習、道徳、生活の知恵など教えていただいている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族面会時に家族の思いや願いなどを聞き相談や助言を行っている。また、月初めにさくら便りを作成し家族に本人の健康状態や生活全般ケアプランの経過などを報告し常に本人を身近に感じてもらえる働きかけを行っている。	1	今後も行事やレクリエーションなどに積極的に参加して頂けるよう支援していく。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族には認知症を理解して頂けるよう働きかけを行い本人の家族への思いを伝えるなどよりよい関係が築けるよう支援していく。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族を中心に本人を取り巻く人々から力を借りながらなじみの関係維持に努めている。本人が昔よく行っていた場所やお墓参りに行くなど慣れ親しんだ暮らしを大事にする。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	関係把握は行っている。孤立しがちな人には意識的に職員が交流の橋渡しをする事で孤立を防いでいる。散歩時も手を繋ぎあい、互いをきずかれておられる姿を見ることができる	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了しても、家族だけの時や本人も一緒に顔を出される時がありいつでも気軽に立ち寄れるホームを築いていけるよう努めている	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	1	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	心身機能である程度は制限される事もあるが、できるだけ利用者の方一人ひとりの思いを汲み取り、リハビリパンツから布パンツに戻したいと言われ、職員が支え合いながら少しでも本人の希望に添った生活が出来るよう援助している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に、家族やサービス事業者から生活全般その人自身を知ることが出来る情報を頂いている。できるだけ本人の日々の生活や会話の中からこれまでの暮らしの情報を意識的に得るようにしている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員は24時間一人ひとりの生活を見守り細かいことも見逃さず記録に書き留めていきその都度適した介護、援助ができるように努めていく。また職員同志でも申し送りなどで1日あったことを細かく伝えていくよう努めている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回ミーティングをもうけケアプランのチェックやカンファレンスを行い職員の意見や気づきを聞きプランに反映させている。利用者にとって無理の無い充実した生活を送りながら行えるよう考え計画を心がけている	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化ごとや最低1回モニタリングを行い見直しが必要と思われた場合はカンファレンスを行い意見を聞きケアプランの見直しを行っている。大幅な修正の際は新たにケアプランを作成している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々一人一人の様子や気づき実践した事などを細かく介護記録に記入し職員の間でも意見を交換していきながら介護計画を見直している。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入院の場合家族の要望があれば入院期間の短縮化を図り、医療連携体制や24時間医療体制などの支援を行っている。病院などの受診、送迎は支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	1	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議などで交流を持ち支援援助など受け入れている。また、ボランティアなども月1回受け入れている。交番、消防署はさくら便りを利用者が持っていくなど存在を知ってもらっている。年2回お弁当の差し入れも行っている。また消防署には、救命講習、消防訓練などの支援をいただいている。	0	
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	他のケアマネージャーやサービス事業所との話し合いは行っているが現状では困難と思われる。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加され本人などの意向を伝え、家族より介護に対しての意見を率直に話されている事くらいで共働は行っていない。	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望があれば以前からのかかりつけ医で受診していただいている。通院は事業所、家族が行い結果はお互いに報告している。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医より診察を勧められた時に専門医の診察を受けるようにしている。現時点では実施していない。	1	ホームへ往診などを取り入れられるよう働きかけをしたい。
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師による医療連携体制をしている。毎日のバイタルなどを行い、かかりつけ医と連携や受診に対して働きかけている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時にはドクター、ソーシャルワーカー、担当者と情報交換を行い家族の方にも早期退院に向けての協力をお願いしている。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に向けた方針は契約時説明同意を得ているが、重度化した場合は家族、かかりつけ医、職員とで状況を判断し再三ににわたりその都度話し合い同意を求め、全員で方針を共有している。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者が日々よりよく暮らせる為、出来ることはどこまで維持継続できるか、出来なければどのように支援していくかを見極めかかりつけ医と協力して行っている。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入院、自宅退去の場合、家族及び本人に関するケア関係者間で話し合い、情報収集に努め共有する事でダメージを少なくする。退去時の訪問は適宜行っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	4	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	4	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	1	
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応は全職員しないことを徹底している。個人情報に関して書類等は持ち出し禁止。個人情報保護法は理解できている。	1	今後も慎重に取り扱っていく。
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	外出、買い物などの日々の活動において声かけをし、自己決定をしていただき参加されるよう働きかけ、表現出来ない方は今までの生活歴から見極め出来ることを支援、援助している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、就寝、食事の時間はある程度は決まっているがその日の本人の希望や体調などでずらしたりしている。希望は出来ることであれば優先して支援をしている。表現できない人に対しても思いをくみ取る様努めて支援している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	朝起きたら洗面、整容を行いスタッフが常に見守っている。お出掛けの際にはお化粧品美容院も訪問を利用される。行きつけの所を希望される時は支援している。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を作る時は、利用者の方に野菜を切っていたり、米とぎや味付けなども一緒にいり食事が楽しくなるように支援している。また、後かたづけも職員と一緒にいりその中でコミュニケーションを図る場としても努めている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	喫煙者は現在おられない。お酒も毎日飲まれず行事の時に少量飲むことで満足されている。おやつは基本的には皆様同じであるが時折職員と一緒に手作りおやつを作る事でできあがったときの喜びを一緒に味わいながら支援している。近くの饅頭屋さんまで散歩がてら買いに行く	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を作り日中こまめに排泄の声かけを行っている。また本人に希望を聞き出来るだけおむつを使用しないよう努めている一人ひとり職員が支え合い排泄の失敗を軽減するよう努めている。	1	24時間排泄にはこまめに目を配り失禁予防につなげていく。
59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	全員毎日入浴されることはないが、時間帯や長さは一人ひとりの希望やタイミングに合わせてゆくり入浴していただいている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	体調には細かく目を配りその人の体調や疲労具合をみながらベッドで休んでいただいている。夜間は状態を細かく記録し日中の活動や不安感の軽減に努めながら安眠の支援をしている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	1	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居前に情報収集をし一人ひとり役割、楽しみごとを職員が把握し実行出来るように支援している。お裁縫、手芸など職員と一緒にレクリエーションの一環として支援するように努めている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはお金は預かっているが、自分でお金を持っているだけで満足されている方もおられる。一部の方は自分で支払いが出来るように支援している。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気や、外の気温を確認し近所の神社まで散歩したり皆さんドライブが好きなので希望の場所や、職員の思いつきで出かけることが多い。身体的に困難なかもデッキに出ただけ外に触れたい。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外出の希望を聞きなるべく要望に応えられるよう努めている。温泉行きの要望があり1泊2日で出かけた。また、家族を交えての外出や本人と家族の外出支援も行っている。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自分でかけることが出来る方は自由に使っていたり依頼にも応じている。はがきや手紙が届いたときには返事を書く支援を行っている。	1	今後季節の便りを書けるように支援

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	いつでも気軽に訪問できるように心がけている。家族の方と気軽に会話ができるように努め、時には一緒に食事をしてホーム内の流れを理解してもらっている	0	
		(4)	安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)	自己評価8項目・外部評価2項目	1	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修参加や勉強会を積極的に行ない、職員全員に身体拘束をしないケアを実践徹底している。外に出ようとされる方には、見守り付き添うことで危険の回避に努めている。	0	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は職員が少なくなるため防犯という意味で施錠をしているが、日中はまったく施錠してない。外へ出られるときは、職員が必ず行動を共にしている。	0	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員全員が所在を確認するため声かけをし確かめ合い安全確認をしている。職員だけが長い時間同じ場所にいないように注意している。	0	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者に合わせ必要なものは(危険な物であっても)家族に理解を求め持参してもらうが、品物の確認(数など)は必ず行なう。使用される時は、職員が見守り安全に取り扱う支援をしている。他の共同使用の物品は保管場所の徹底と目に触れないよう工夫している。	0	
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	リスクマネジメントの研修や勉強会を実施、職員全員が理解し事故防止に取り組んでいる。事故、ヒヤリハット報告などもミーティングを行ない再発を防ぐ努力をしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	ホーム独自の実施訓練を定期的に行なっている。消防署から消防訓練、避難訓練、救命講習なども年2回行ない職員は積極的に参加している。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急連絡網を作成、掲示全職員には緊急招集訓練等行っている。避難場所や人命優先と共に必要な物品の搬出方法や確認の周知徹底に努めている。地域住民の支援もお願いして承知していただいている。	1	定期的な訓練を徹底していく。地域住民の方の協力も日々の生活や活動のなかで意識的に広げていく。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	契約時、ケアプラン説明時に個々に対しリスクがあるような場合はそのつど家族に説明し理解を得ている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルチェックや状態観察を行ない異常時は、互いに報告、情報の共有を行ない状況に応じて、医師へ連絡、往診依頼、受診などの対応を行なっている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬中の説明書をファイルして全職員が把握できるようにしている。情報、指示、指導は申し送りにて共有している。個人別にセットしており出すとき、内服時は必ず名前、日時の確認を徹底して行なっている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	24時間排便チェックを細かく行なっている個々にあった工夫、対応をしている。散歩を中心に運動をすると共に水分摂取、食事に配慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時、毎食後歯磨きは自らいかれる方と、声かけで行かれる方とおられる。できない方は職員が誘導し介助を行なっている。定期的に歯科往診を依頼し検診を受けている。	0	
		79 外部評価 31	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量など1日の摂取量を把握し記録している。自力摂取困難な方も最初から介助せず、時間がかかってもゆっくりと見守りながら困難時に介助を行なっている。	0	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防の目的として外出後の手洗い、うがいは必ず行なっている。感染症に対して市町村からの依頼で、職員は全員研修などに参加して勉強をしている。	0	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防のため台所などの調理器具はこまめに洗浄、除菌スプレーなどを使用している週1回はまな板、包丁、普段使っている食器などはキッチンハイターを使い消毒をしている。食材等は、賞味期限を確認、また、地産地消を目的とし安心で安全な食材を使用している	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価8項目・外部評価2項目	0	
	2 生活の環境づくり	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価5項目・外部評価2項目	0	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	普通の民家で地域に溶け込んでいる。ホームの周囲は塀もフェンスもなく開放的で花壇には四季折々の花が咲きまた、小さな畑も作っており野菜も利用者の方々と植え収穫も一緒に行なっている。利用者の仏様の花も花壇の花を切って上げている。	0	
		83 外部評価 32	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の方々が過ごすリビング等はいつも軽音楽を流し太陽の日差しがレースのカーテン越しに全体的に入り、利用者の方と職員が色々な会話、体操、レクリエーションなどなど楽しみながら過ごしておられる。壁面には、写真や工作などを飾っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有場所は広くないが個々人の利用者が椅子に座ったりカーペットに長くなったりと、小さな図書スペースを造り町の図書館からの貸し出しの本をそこで読まれたりしている。利用者の居室でお話などもされる。	0		
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、普段使い慣れたものを用意して持ってきて貰うようお願いしている。部屋の整理整頓、心地よく、安心、安全に生活していただけるように努めている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は定期的に行ない温度調節を行なっている。ホーム内は温度計を置き全体的に一定の温度を保つように心がけている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、廊下、浴室、外回りなど必要な場所には手すりを設置している。居室に転倒防止のためセンサーを付けている	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ、居室、風呂など場所を間違えないように見やすい高さにネームを付け混乱を防いでいる。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に小さい畑を作り一緒に種をまき、苗を植え収穫時期には一緒に収穫している。天気のいい日は外に出て、畑や花壇の草取り、近くの神社まで散歩にでたりと気分転換を図っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。